

編集・企画

八幡平ふるさと会 広報委員会

〒103-0015

中央区日本橋箱崎町36-3-806

TEL 03-5640-1422

FAX 03-5640-1433

今年のスペシャルゲスト①

オカリナ演奏者 リ・エヨン様 (韓国籍)



■プロフィール

- ・ Korea Practical Music Association 会長
- ・ Earth Healing Culture Foundation 会長
- ・ Korea Culture and Arts Institute 会長



■プロフィール

- ・ 民謡北條門人会会長
- ・ オリエントレコード所属
- ・ 津軽三味線講師

今年のスペシャルゲスト②

三味線演奏者 北條なおき (本名:小林賢)

平成31年度、第13回「八幡平ふるさと会の集い」は、5月26日(日)、日暮里の「ホテルラングウッド」にて開催いたします。八幡平市から田村市長はじめ、来賓の方々が出席予定。今年は韓国で有名なオカリナ演奏者が出演致します。毎年恒例の福引抽選会や合唱、ふるさとの物産販売もあります。

多数の方の参加をお待ちしております。みんなで楽しいひとときを過ごしましょう！

第13回

◆みんなの癒しの場◆
八幡平ふるさと会の集い

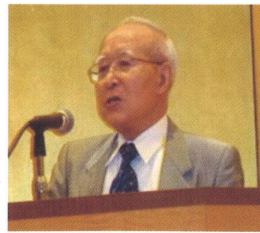
この八年間、至らない私を支えて戴き会長職を精一杯全う出来ましたことに、心より厚く御礼申し上げます。

今後もふるさと会をもっともっと盛り上げつつ、八幡平市へ少しでも貢献できます様に、役員及び会員が丸となって故郷への想いを積極的な行動力で広げて行こうではありませんか。皆様方の御厚情に深く感謝し御礼と致します。

長い間本当に有り難う御座いました。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

会員の皆様へ

田村 啓造 会長



【田村会長 退任の挨拶】

この度、長年八幡平ふるさと会の会長を務められた田村啓造氏(旧西根町出身)が任期を満了し、会長職を退任することになりました。今まで、ご尽力いただき誠にありがとうございました。

「第13回八幡平ふるさと会の集い」

◆日時:平成31年5月26日(日)

午前11時00分～

(受付:午前10時30分～)

◆場所:ホテルラングウッド 2階「飛翔の間」

東京都荒川区東日暮里5-50-5

電話 03-3803-1234

◆会費:9,000円 (子ども同伴者は12,000円)



◆JR山手線、京浜東北線、常磐線/日暮里駅 南改札徒歩1分
◆京成線、舎人ライナー/日暮里駅徒歩3分

八幡平ふるさと会にむけて

八幡平市長 田村正彦



今年も恒例の八幡平ふるさと会の集いが開催されます。心からお祝い申し上げます。昨年は私も出席させていただきました。200名を超える参加者の皆さまと、思い出話やアトラクション鑑賞など、大盛況の中で楽しい時間を過ごさせていただきました。県内外の市町村でも、これほど多数の参加者が集う、ふるさと会は見受けられません。会員の皆さまのふるさとへの熱き思いに改めて感動いたします。これも田村会長をはじめとする役員、事務局ならびに歴代の会長、役員の方々のご尽力によるものと深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、平昌オリンピックにおいて、本市出身の小林潤志郎・陵侑兄弟がジャンプ競技に、永井秀昭選手がノルディック複合競技に出場し、小林陵侑選手が日本勢トップの7位入賞を果たすなど、市民に夢と感動を与えていただきました。今シーズンの陵侑選手は、スキージャンプ・ワールドカップ個人第2戦で初優勝した勢いに乗り、伝統のジャンプ週間では史上3人目の完全優勝を果たしたほか、史上5人目の6連勝も記録するなど、才能が一気に開花、世界のトップに躍り出ました。この原稿を書いている2月17日時点でも、日本男子年間最多勝を更新する11勝目を挙げ、会報が皆さまのお手元に届く頃には、日本男子初の総合優勝を達成していることと

確信しています。

本年は、次の10年間の市政運営の指針となる第2次八幡平市総合計画前期基本計画の取り組みが4年目を迎えます。引き続き、計画に掲げる政策・施策を着実に推進し、具体的な事業実施を進めてまいります。

4月下旬には、春の観光シーズンの始まりを告げる八幡平アスピーテライン、樹海ラインが開通します。これを機会に、ご家族やお友達を伴って訪れていただき、雪の回廊や効能豊富な温泉、山菜料理に舌鼓など大自然を満喫していただきますとともに、改めて、ふるさと八幡平の魅力を発信していただければ幸いに存じます。結びに貴会が、今後とも回を重ねて、ますますご発展されますことをご祈念申し上げます。あいなさつとさせていただきます。

修学旅行で自主研修

ふるさと会 副会長 伊藤 彰

八幡平市立松尾中学校では、生徒の主體的な学習態度を育てるため、修学旅行でグループ別研修を実施しています。これは、東京で事業をしている八幡平市出身者実際に会って話を聞くことを通して、生徒がその生き方に触れ、体験を踏まえた学びの機会とすることが狙いです。また、首都「東京」と自分たちのふるさと「岩手・八幡平市」のつながりや良さを考え、「岩手・八幡平市」について改めて考える機会にしたいとの学校の考えがあります。

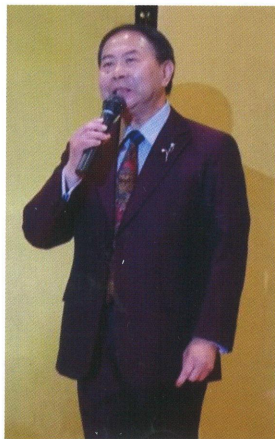
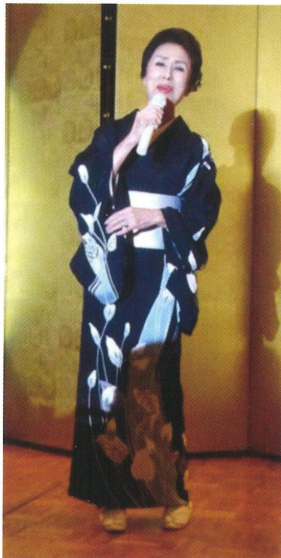
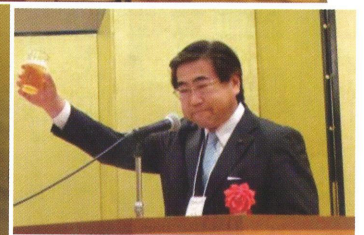
その自主研修で平成30年4月20日(金)、5人の生徒さんたちに弊社を訪問して頂きました。先生の引率もなく自分たちだけで会社に辿り着き、事務所では、姿勢よく、礼儀正しく、あらかじめ会社情報をホームページで調べて各自準備し、協力合って順番に質問を頂いたので、こちらの想いや説明もスムーズに伝えられました。

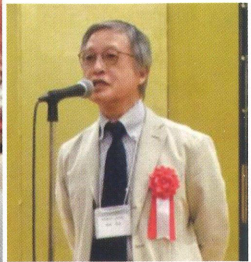


研修風景

東京から見た八幡平市の良さ・魅力、東京と八幡平市の共通点や異なる点、岩手県や八幡平市を担う中学生に望むことなど、地元を見つめ直す視点からの質問が相次ぎました。また、弊社の仕事については、廃棄物を資源として社会に循環させ、持続可能な社会づくりに役立ちたいと考えて平成5年各種廃棄物の収集運搬事業を創業した経緯を説明。廃棄物を油化・ガス化する装置を釜石市で開発しており、微生物を使ったバイオマストイレの事業化に取り組んでいることなどをお話ししました。

昨年のふるさと会写真





故郷の思い出① 旧松尾村出身 米内幸夫

岩手山と八幡平市の方言

私が東京に出てきて44年になるが、ふるさとを忘れたことは一度も無い。毎年、正月には「日本の滝100選」の一つに数えられている不動の滝に行き、夏には八幡平の頂上に行き涼んでくる。そして雄大な岩手山を眺めてくる。

八幡平市と言えば、岩手山。岩手片富士と呼ばれるように片方が富士山とそっくりである。同じ岩手山でも盛岡側から見たより、八幡平市から見た方がすばらしいと思うのは私だけだろうか？左側のすつきりとなめらかな線は、女性の清楚な美しさと素直さを表わしているように見える。

また、左の（つ）つと岩だらけの線は、男性の野生味と挑戦への意欲を掻き立てる姿ではないだろうか？左右どちらも甲乙付けがたく、大好きである。

さて、東京に出て来てから

2、3年たった頃の出来事。帰省するため東京駅から盛岡駅に着き、花輪線の列車の中で、となりのおばちゃん達が何かを話している。ところが、何を話しているのかさっぱり解らない。5分位、じつと聞いている内によくやく理解できた。東北弁を忘れてしまっていた自分にビックリした。

それから私は八幡平市の方言に興味を持った。そこで方言を集めてみた。最初は50人達と話している内、とうとう100まで集め「八幡平市の方言100選」が完成した。ほしい方は5月のふるさと会の時に声をかけて頂ければお渡し致します。

八幡平ふるさと会も今年で第13回を迎えます。ナジロニカして、タマゲルくらいエツペ来てケロ。

故郷の思い出② 旧西根町出身 伊東マヨ子

ふるさとを離れ時々懐かしく思うことは、小学5年生の遠足がきっかけで何度も行った国の特別天然記念物「焼走り」だ。

岩手山の麓、田頭で育った私は、焼走りはハイキングには丁度良い距離だった。家から「おにぎり、お味噌」を持って

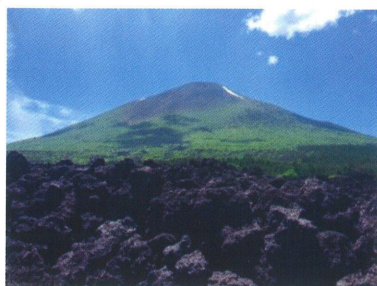
友達と数人でよく出かけた。途中で畑仕事をしているおじさん、おばさんからトマト、きゅうり、プリンスメロンなどを頂いて、焼走りの湧き水を流れる小川に冷やし、自然豊かな森林、焼走り溶岩を訳もなくお喋りしながら歩き楽しんだ。広大な溶岩流の凄さと、家から眺めるよりはるかに雄大にそびえている岩手山を見るたびに感動した。お腹を空かせて食べるおにぎり、冷たく冷えた野菜と湧き水の美味しかったことは今でも思い出す。久しぶりに焼

走りに行ってみると、天文台で星空の観察、キャンプ場ではBBQも楽しめるようになっていた。そばには豊かな自然の中で沸いた天然温泉もあり、ゆったりとくつろぎ幸せ気分を満喫できる。

息子が「焼走り旧車ミーティング in 八幡平市」にここ数年出かけ友達もでき、出かけることを楽しみにしている。私も一度誘われて行ってみた。映像で見ただけのことがない何種類もの旧車がズラリと並んでいて、出店も多く、大勢の人で賑わっていた。車オンの私でも十分に楽しむことができた。地元にも生まれ育ったとはいえ、私は八幡平市の情報が少ない。兄弟達が健在の内に里帰りをして新鮮な野菜料理を食べながら、地元の情報を

得たいと思う。

私にとって故郷は心を癒し、時には励ましてくれる存在だ。



国の特別天然記念物：焼走り



旧車ミーティング 2018年の様子

故郷の思い出③ 旧安代町出身 安保勝己

小学校の下校時、先まで一緒に帰っていた同級生と集落の分かれ道で何がきっかけか分からないが、国道に敷かれていた石で投げ合いが始まり恒例となっていた。その時に受けた傷が今でも残っている。本当に危ない遊びをしていたものだと感心する。

遊びと言えば、川に入れば魚採り、山に入ればアケビや山ぶどう採り、生活の足しにワラビ採りをしに山や川は遊び場にほかならない。

小学生のころ唯一失敗したことがある。それは我が家には大人用の自転車しかなかったので、三角乗り出た。18年間育ててくれたふるさとを思いながら、駅からの帰り、よそ見して進行してきた車と正面衝突してしまった。

ふるさと会に参加して思うことは、兄の同級生がいたり、親せきがいたり、同級生や後輩がいたりして昔話を華を咲かせ、楽しい一時を過ごすことができた。生涯の1ページとなったことは間違いない。



1971年(昭和46年)9月30日
蒸気機関車 8620

(通称 ハチロク)
運行終了時の写真

怒涛の優勝ラッシュ！あのレジェンド葛西が見つけた八幡平市出身の大スター！



小林陵侑(こばやし りょうゆう)

～プロフィール～

生年月日：1996年11月8日

出身：岩手県八幡平市(旧松尾村)

中学校：松尾中学校

高校：盛岡中央高等学校

現在：土屋ホーム

ノルディックスキー・ジャンプのワールドカップ(W杯)を兼ねてノルウェー国内を転戦する「ロー・エア(RAW AIR)」トーナメントは3月17日(日本時間18日)、ビケルスンでフライングヒルによる男子最終戦(ヒルサイズ=HS240メートル)が行われ、岩手県八幡平市出身の小林陵侑(22)=土屋ホーム、八幡平・松尾中—盛岡中央高=が逆転で初の王座に就いた。

[写真ご提供：株式会社土屋ホーム企画広報部スキー部様]

ふるさとダイジェスト

アフリカに Lindu を咲かせよう

～オリンピックホストハウス登録～

▼ルワンダオリンピック委員会との覚書締結式



▼ルワンダ産安代 Lindu 初出荷式



八幡平市は4年前から、東アフリカのルワンダ共和国で Lindu の実証栽培を行ったことから、同国との交流が始まりました。昨年5月には田村市長が現地へ赴き、ルワンダ産 Lindu の初出荷式が行われたほか、ルワンダ国立オリンピック組織委員会との間で、事前合宿や文化・スポーツの交流に関する覚書を締結し、8月にはホストタウンに登録されました。出場が有望な種目は、陸上長距離、自転車ロード、ビーチバレーなどで、同国オリンピック選手団は今年8月から9月までと、来年のオリンピック直前の2回にわたり事前合宿を行うほか、トレーニングの合間には市民と交流を深める予定です。

◆重要なお知らせ◆

今後、ふるさと会のご案内ハガキが届きましたら、必要事項をご記入のうえ必ずご返送ください。3年以上ご返送が無い方にはご案内を控えさせていただきます。

住所変更された場合や、新しく案内送付希望の方がいましたら氏名、住所、中学卒業年度、学校名、電話番号を名簿管理委員会事務局へお知らせ下さい。

〈名簿管理委員〉

名簿管理委員長

安保勝己（安代地区）090-1659-8621

安代地区 清水 靖子 042-251-1532

西根地区 福内 秀子 047-154-3366

松尾地区 高橋 勤治 080-3010-0193

参加者募集中

参加自由・ゴルフの会

〈八幡平ふるさとゴルフ会〉

期日：8月15日

場所：大更…南部富士 CC

〈岩手県人連合会ゴルフ大会〉

期日：10月9日

場所：千葉県…紫 CC あやめコース

連絡先：八幡平ふるさとゴルフの会

責任者：坂本 敦子

電話番号：047-386-5558



〈編集後記〉

スキージャンプ小林選手の快挙は、本当に驚きと感動を与えてくれましたね！世界トップレベルの活躍をする地元のスターとして、今後もみんなで応援していきましょう。ふるさと会役員の方には、関東で社長や経営者をされている先輩方も多くいらっしゃいます。同じビジネスマンの私からすれば、役員の方にもみな地元の尊敬するスターだと感じており、日々刺激を受けております（広報/淳吉）